



秋の果物

第168回例会 1962.10.2 (火) 晴

白鷺社会員
長谷川氏 絵例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)
事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

○卓話 自分の商売から見た感想 広瀬君

○出席報告

本日の出席者	出席数 32名	欠席者	三浦君、小花君、板垣君、張君、安藤君、大野君、鈴木君、佐藤(伊)君、三井(賢)君、男網君、池内君、高橋君
出席率	72.73%		

前回の修正出席率	88.64%	メー	大野君 (村山R.C)
修正出席数	40名	ーク	張君 (札幌東R.C)
修正出席率	90.91%	ップ	池内君 (酒田R.C)

○司会 斎藤(得)君

○ソング 我等の生業 リーダー 広瀬君

○ビジター

石川 孝君 (新庄R.C)
中村太助君 (酒田R.C)
佐藤 勤君 (〃〃)
前田良介君 (〃〃)
菅原権吉君 (〃〃)
斎藤仁八君 (〃〃)
森川悦郎君 (〃〃)

De Kler 氏 挨拶要旨 (前号につづく)

古代ギリシャの時代からロータリーのものはあつたのだが、その大半が滅亡してしまつたと云うことはそこに一つの目標がなかつたからである。その目標とは「人類の為に奉仕する」ことである。現在のロータリーの四

つのテスト、我々が自分の行動を価値づける為のものである。

私達が歴史を振り返つて見る時、あらゆる文化は力を持つているが、その文化は「人類の奉仕」を忘れる時に滅亡してゆくのです。私達夫妻が、ここで皆様ロータリアンにお会いしているのですが、これは単なる医師・技術者としてではなく、「人類への奉仕者」としてお会いしているのだ。

皆様は日本の古代からの文化に誇りを持つて居られると信じるし、また持つことを期待している。私達夫妻も同様にアメリカの文化に誇りを持つています。そして世界中の人々が、自分の国の文化や習慣に誇りを持つて居ります。

私達は、学校やロータリアンの家庭で多くの日本の子供達に接しましたが、私達夫妻の四人の孫達と同じ行動を発見しましたし、皆様が家庭で子供を可愛がつている様子や、街で見た母親が子供を可愛がつている様子は、全部が私達のアメリカのそれと全く同じであります。

この様に世界中は全く同じなのであります。これは何を意味するか。

それは、「我々は人間である」と云うことであり、何等の差別もなく世界中が同じなのであります。そしてまた、その内にある目的、「より幸福に、もつとよりよい生活をしたい」と云う気持である。

世界中の争い事は、無理解によつて、理解しない人間によつて起されるのであります。しかし、その様な争いは、人間対人間として起るのではなく、別の面に誤解の争いとして生じるのである。

ロータリーの最大の目的と意義は、一人対一人の間に

は誤解は生じないと云うことである。ロータリーが何百年も続き、また続いてゆくのは、茲にかかっているのである。

皆様の奉仕——狭い小路にまで及ぶ奉仕——が世界に幸福をもたらすのである。この様な小路にまで及ぶ奉仕がロータリーを国際的に拡大してゆくのである。だから愉快的、必ずよくなると云う気持ちで働けば、仕事は益々よくなるのである。よくはならぬのではないかと云う気持ちで働いているのでは、仕事はうまくゆかない。

「これをするな」「あれをするな」と云うよりは、「こうしましょう」「ああしましょう」と云つた方がよりロータリー的であるし、より教育的である。

私は25年間ロータリアンであつたが、私が妻と共に、この鶴岡でロータリーの道について感じる事が出来たのは、ロータリアンとして実にうれしい。世界中のロータリアンが、また出来るならば、世界中の軍隊が、この様な気持ちを持つことが出来たなら、どんなにか世界中が楽しいことであろう。

最後に、我々は毎日、毎日に全精力を集中して悔いのない生活を送ることが、私達の道である。あまり非観的にならず、楽しく生活することである。過去を振り返ることも大切ではある。山で今歩いて来た山道を振り返ることも必要だが、常に我々は二、三步前進して行動することがよいのではなからうか。

私は、先程の佐藤会長の御言葉を、ニューブランズウィックのクラブへ伝えましょう。どうか鶴岡からもニューブランズウィックのクラブへ御出になることを希望致します。

(ここで、佐藤会長はKler夫人に対し、英語をもつて説明しながら「いづめご」を贈り、Kler夫妻はもとより、全会員から万雷の拍手を欲びた)

○自分の商売から見た感想 広瀬君

現在鉄工関係は不況時にありますが、然しセメントだけが、益々需要を増し、品不足をしております。これは、オリンピックに際し、国土の道路の補修や、あらゆる建築用としての影響だろうと思う。

鉄工資材等は1トン当り10,000円を下まわる様な時もありました。

鉄工関係で、つまり昔の鍛冶屋というもの非常に少なくなつて参りましたが、鶴岡にない業種が二つ程あります。一つは鉄筋組立業者がない事、二つはガラスのはめこみ鉄骨業者がないこと。今後はこういう問題を育成するによつて、市の一つの発展の道ではなからうか。

最近、各業種の景気が早期に回復するか、見通しが困難であるという見方もあり、本格的な不況乗り切り策を講じる動きが活発になつてきた地方の間屋がだんだんと少くなり、生産者、製造者より直接需要者に販

売される向もあるのではないかと思います。今後は商店のあり方等に対し、色々研究する必要があると思ひます。

○幹事報告

東京インターンティミーティング開催通知

期日 11月12日(月) 12～14

会費 1,200円

参加希望者は幹事まで至急申込まれたい。

○10月の会員誕生

お奥様誕生

広瀬君	齋藤(得)君……脩子様
五十嵐君	佐藤(昇)君……登久子様
高橋君	菅原主純君……きくよ様

○9月100%出席者

三浦君、小池君、五十嵐君、金井(国)君、安藤君、阿部君、金井(勝)君、海東君、小花君、張君、長谷川君、早坂君、池内君、鷺田君、三井君、大野君、飯白君、齋藤(栄)君、荘司君、鈴木君、佐藤(昇)君、佐藤(仁)君、手塚君、田中君、谷口君、齋藤(得)君、嶺岸君、福島君、佐藤(伊)君、中台君、高橋君、三井(賢)君、武田君、吉村君、男網君 以上 35名

○ニコニコ箱

広瀬君	誕生
五十嵐君	
高橋君	
佐藤(昇)君	おくさん誕生
菅原(主)君	
齋藤(得)君	

○本日の献立

さしみ ばくち 焼物鮭、味噌汁よしかに

紅葉を探る

北国の紅葉は鮮かである。関東、関西の比ではない。当地方の紅葉狩りで最も親しまれている。湯殿山は10月20日頃が見ころ。湯殿山ホテルから仙人沢まで2.6キロの自動車道が完成し、毎日5回バスが通っている、ここから湯殿山神社までは徒歩25分。湯殿山までの途中、八紘沢、田麦俣など11月上旬まで紅葉が楽しめる。本年は天候の関係で名物のきのこは余り上作でないとか。名川橋から右に入る八久和溪谷は、わが国の山岳中でも屈指の大原始景観。日曜祭日は鶴岡から八久和川をさかのぼり、八久和ダム、荒沢ダムを廻遊するバスが運転されている沿線のノトコから梵字川の清流を距てて田麦を仰ぐ魁異な山谷、滝、溪流、紅葉が一幅の名画のように美しい紅葉橋、東北第一と云われる八久和ダムなど一日の清遊に絶好のコースとしてお奨めしたい。羽黒から月山六合目までのバスは土、日曜運転。